

令和元年度

第2回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課

令和元年度 第2回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和2年2月13日（木）午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

次 第

I 開会

II 議題

- 1 令和元年度（上半期）歯科口腔保健事業実績
- 2 令和元年度保育所・こども園・幼稚園における歯科健康診断の結果
- 3 浜松市歯科口腔保健推進計画の推進について
 - (1) 令和元年度の取組
 - (2) 歯科保健の推進における確認事項
 - (3) 令和2年度計画
- 4 その他

III 閉会

浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

| | |
|---------|------------------------|
| ◎ 大野 守弘 | 一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長 |
| ○ 林 卓司 | 一般社団法人 浜松市医師会 副会長 |
| 才川 隆弘 | 一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長 |
| 村上 祐介 | 一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長 |
| 澤井 康行 | 一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長 |
| 池谷 志保 | 特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事 |
| 山本 千栄子 | 浜松民間保育園園長会 理事 |
| 市川 明美 | 浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長 |
| 小田 史子 | 浜松市手をつなぐ育成会 副会長 |
| 川合 きよみ | ヘルスポランティア活動連絡会 役員 |

◎ 会長

○ 会長職務代理者

任期：平成31年4月1日から令和4年3月31日まで

【事務局】

| | |
|--------|----------------------------|
| 新村 隆弘 | 健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長） |
| 小山 東男 | 健康福祉部 健康増進課長 |
| 坂本 友紀 | 健康福祉部 副参事 |
| 平野 由利子 | 健康福祉部 健康増進課長補佐 |
| 伊藤 梓 | 健康福祉部 技監 口腔保健医療センター 所長 |
| 嵩山 なお子 | 健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 主幹 |
| 戸谷 由里 | 健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副技監 |

【関係課等】

| | |
|--------|-------------------------|
| 田中 孝太郎 | 健康福祉部 障害保健福祉課長 |
| 渡辺 貴史 | 健康福祉部 高齢者福祉課医療・介護推進担当課長 |
| 市川 和弘 | 健康福祉部 介護保険課長 |
| 安間 浩 | 健康福祉部 国保年金課長 |
| 板倉 称 | 健康福祉部 参与 |
| 山中 信次 | 健康福祉部 健康医療課長 |
| 山本 卓司 | こども家庭部 幼児教育保育課長 |
| 花嶋 徳光 | 学校教育部 健康安全課長 |
| 芦澤 信之 | 中区 健康づくり課長 |
| 野沢 和好 | 東区 健康づくり課長 |
| 神谷 修己 | 西区 健康づくり課長 |
| 幸田 昭彦 | 南区 健康づくり課長 |
| 大谷 洋子 | 北区 健康づくり課長 |
| 市川 恭詳 | 浜北区 健康づくり課長 |
| 森田 修 | 天竜区 健康づくり課長 |

1 令和元年度（4～9月）歯科口腔保健事業実績

| 事業名 | 平成30年4-9月 | | 令和元年4-9月 | | 増減 (人) |
|---------------------------|-----------|-------|----------|--------|-----------|
| | 回数等 | 人数(人) | 回数等 | 人数(人) | |
| (1) 妊娠期・乳幼児期 | | | | | |
| 妊婦歯科健康診査 | | 1,385 | | 1,262 | △ 123 |
| 歯科相談（全年齢） | 45 | 97 | 40 | 30 | △ 67 |
| 電話相談 | | 53 | | 46 | △ 7 |
| 1歳6か月児歯科健診 | 95 | 3,283 | 119 | 3,147 | △ 136 |
| 2歳児歯科健診 | 64 | 1,475 | 47 | 1,442 | △ 33 |
| 2歳児後期歯科健診 | | 464 | | 777 | 313 |
| 3歳児歯科健診 | 83 | 1,927 | 78 | 1,896 | △ 31 |
| フッ化物洗口 | 106 | 5,070 | 107 | 5,506 | 436 |
| 歯と食の元気アップ教室（保育園・こども園・幼稚園） | 151 | 9,830 | 159 | 10,621 | 791 |
| フッ化物洗口説明会 | 22 | 502 | 21 | 511 | 9 |
| 歯科健康教育（依頼によるもの） | 5 | 97 | 3 | 94 | △ 3 |
| 離乳食教室 | 38 | 676 | 39 | 633 | △ 43 |
| もぐもぐ元気っこ教室 | 15 | 318 | 9 | 298 | △ 20 |
| 親子すこやか相談 | 69 | 282 | 63 | 250 | △ 32 |
| 訪問歯科相談 | 6 | 6 | 4 | 4 | △ 2 |
| 歯と口の健康週間事業イベント来場者数 【会場数】 | 5 | 2,138 | 4 | 1,755 | △ 383 |
| (2) 学齢期 | | | | | |
| 歯科健康教育(依頼によるもの:小・中・高等学校) | 19 | 1,224 | 11 | 927 | △ 297 |
| フッ化物洗口【施設数】 | 1 | 535 | 0 | 0 | △ 535 |
| (3) 成人期 | | | | | |
| ママのための生活習慣病予防教室 | 6 | 119 | 6 | 140 | 21 |
| 歯周病検診 | | 2,606 | | 2,391 | △ 215 |
| 歯科健康教育（依頼によるもの） | 2 | 117 | 4 | 94 | △ 23 |
| 訪問歯科相談 | 1 | 1 | 0 | 0 | △ 1 |
| 市民公開講座（高齢者福祉課） | 2 | 370 | 2 | 336 | △ 34 |
| (4) 高齢期 | | | | | |
| 歯科健康教育（依頼によるもの） | 20 | 480 | 29 | 655 | 175 |
| 訪問歯科相談 | 1 | 1 | 0 | 0 | △ 1 |
| 歯科訪問診査 | | 42 | | 43 | 1 |
| (5) 障がい者の歯科 | | | | | |
| 心身障がい者（児）歯科診療（口腔センター） 【日】 | 57 | 232 | 66 | 360 | 128 |
| 障がい者施設歯科健診（保健指導含む） 【施設数】 | 36 | 810 | 31 | 759 | △ 51 |
| (6) 状況に応じた歯科口腔保健医療 | | | | | |
| 休日救急歯科診療 【日】 | 35 | 461 | 37 | 683 | 222 |

2 令和元年度保育所・こども園・幼稚園における歯科健康診断の結果

- 市内の保育所・こども園・幼稚園が実施した歯科健康診断の結果を集計した。
- 令和元年度は、私立・公立(市立)の保育所・幼稚園・こども園226園から回答を得た。
(回答率99.1%：全228園)。

(1) 調査者数

表1 調査者数

【単位：人】

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| H27年度 | 495 | 1,599 | 2,123 | 6,217 | 6,769 | 6,679 |
| H28年度 | 611 | 1,734 | 2,253 | 6,071 | 6,714 | 6,892 |
| H29年度 | 587 | 1,677 | 2,320 | 5,965 | 6,587 | 6,814 |
| H30年度 | 590 | 1,706 | 2,478 | 5,747 | 6,457 | 6,659 |
| R1年度 | 649 | 1,928 | 2,502 | 5,747 | 6,457 | 6,610 |

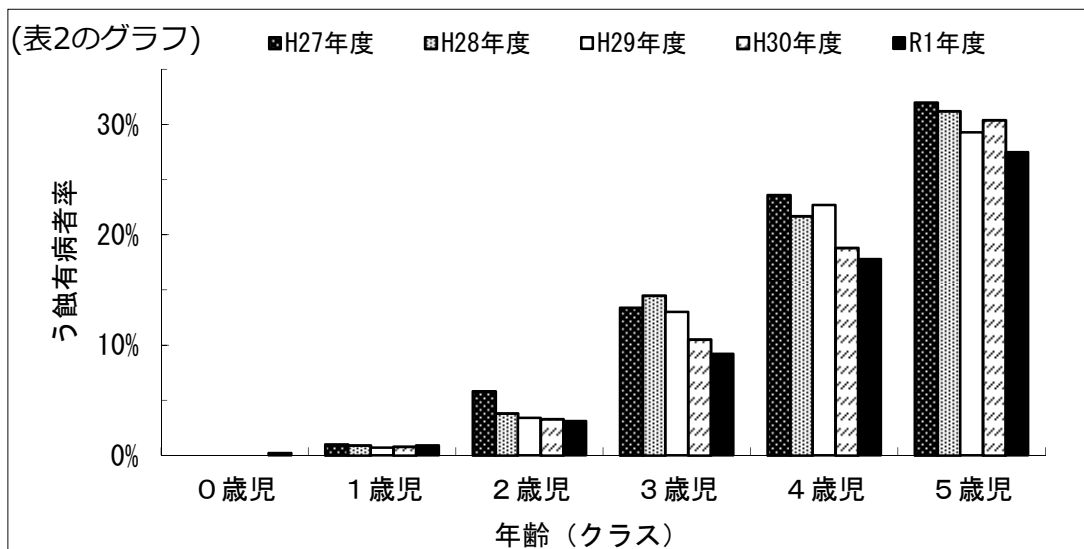
(2) う蝕有病者率（むし歯^{*}がある者の割合）

※むし歯：未処置歯及び処置歯

表2 う蝕有病者率

【単位：%】

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|-------|-----|-----|-----|------|------|------|
| H27年度 | 0.0 | 1.0 | 5.8 | 13.4 | 23.6 | 32.0 |
| H28年度 | 0.0 | 0.9 | 3.8 | 14.5 | 21.7 | 31.2 |
| H29年度 | 0.0 | 0.7 | 3.4 | 13.0 | 22.7 | 29.3 |
| H30年度 | 0.0 | 0.8 | 3.3 | 10.5 | 18.8 | 30.4 |
| R1年度 | 0.2 | 0.9 | 3.1 | 9.2 | 17.8 | 27.5 |



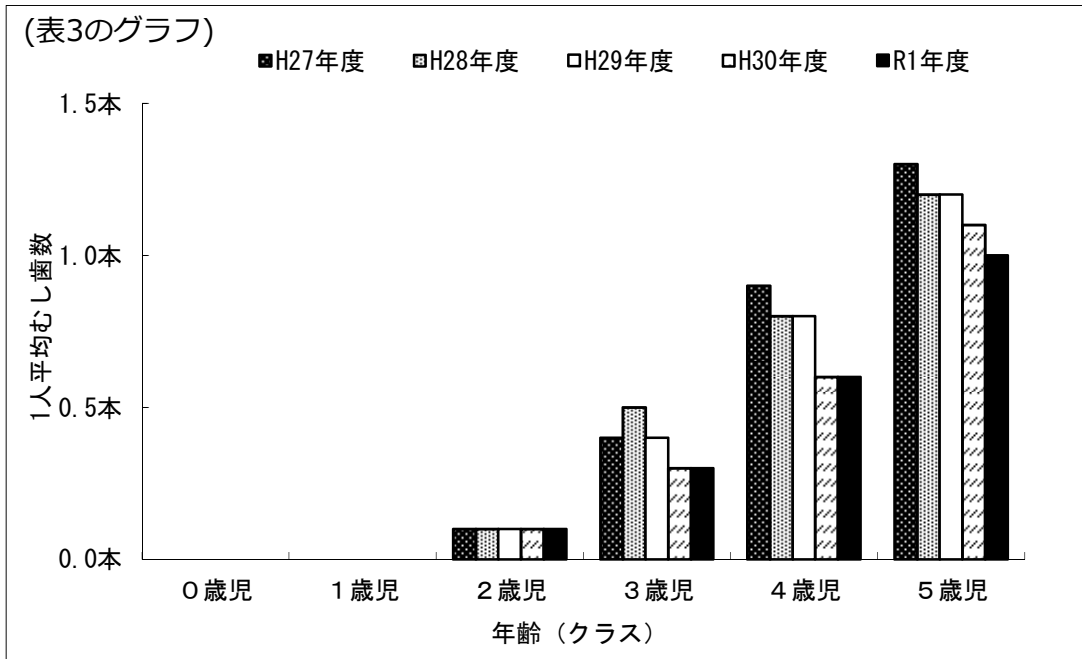
- ・ う蝕有病者率は減少傾向にある（むし歯のない者の割合が増加）。
- ・ 0歳児のう蝕有病者は1名。

(3) 1人あたりの平均むし歯本数 <未処置歯+処置歯>

表3 1人平均むし歯数

【単位：本】

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| H27年度 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.9 | 1.3 |
| H28年度 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.5 | 0.8 | 1.2 |
| H29年度 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.8 | 1.2 |
| H30年度 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.6 | 1.1 |
| R1年度 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.6 | 1.0 |



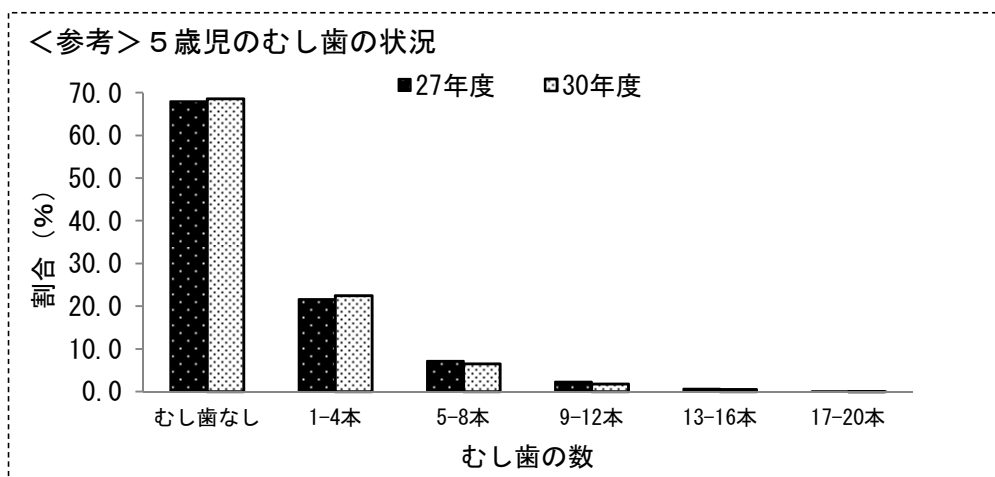
・ 5歳児の1人平均むし歯数は年々減少している。

<参考> 5歳児のむし歯の状況 (割合)

【単位：%】

| | むし歯なし | 1-4本 | 5-8本 | 9-12本 | 13-16本 | 17-20本 |
|------|-------|------|------|-------|--------|--------|
| 27年度 | 68.0 | 21.7 | 7.2 | 2.3 | 0.7 | 0.1 |
| 30年度 | 68.6 | 22.5 | 6.5 | 1.8 | 0.5 | 0.1 |

出典：静岡県5歳児歯科調査 (R1は未公表)



・ むし歯なしの者の割合が増加、全体的に軽症化の傾向

(4) 歯科保健行動の実践状況

表4 歯科保健行動の実践状況

【単位：園(%)】

| | 施設数 | 歯みがきをする園 | フッ化物洗口を実施する園 [#] |
|-------|-----|-------------|---------------------------|
| H27年度 | 206 | 175 (84.9%) | 92 (44.2%) |
| H28年度 | 210 | 170 (81.0%) | 99 (46.7%) |
| H29年度 | 213 | 173 (81.2%) | 101 (46.3%) |
| H30年度 | 221 | 175 (79.1%) | 98 (44.3%) |
| R1年度 | 228 | 181 (79.4%) | 104 (45.6%) |

[#]分母は全園数(228園)

○「歯みがきをする園」は約8割であった。

3 浜松市歯科口腔保健推進計画の推進について

3つの重点施策

- ・口腔機能に着目した口腔成育の推進
- ・健康づくりに関心の低い働きざかりの世代に対する歯周病予防対策の推進
- ・健康寿命の延伸に向けた歯と口の機能低下を予防する対策の推進

その他の推進施策

- ・障がい者や要介護高齢者等への歯科保健医療サービス提供の推進
- ・歯科医療技術者の養成

(1) 令和元年度の実施

(ア) 口腔保健支援センター関連事業

①口腔ケア普及推進事業

➤4事業所（令和元年12月17、27日、令和2年1月27、28日）

- ・参加者 事業所職員（介護福祉士、ヘルパー等）、要介護者家族等 計52名
- ・内容 介護福祉サービス事業所へ赴き、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・講師 市職員（歯科医師、歯科衛生士）

②高齢者歯科保健相談推進事業

➤意見交換会1回（令和2年1月23日）

- ・参加者 地域包括支援センター[鴨江、元浜]、介護事業者[7事業所]、17名
歯科診療所の職員、 歯科医師 5名
- ・内容 口腔ケアに関する研修と、参加者間の意見交換
- ・講師 浜松市歯科医師会 鈴木隆之先生、市職員（歯科医師、歯科衛生士）

③障がい者歯科連携推進事業

➤令和2年3月12日（予定）

- ・参加者 歯科医療従事者
- ・内容 障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修、及び知識の講義
- ・講師 （講義）静岡県立こども病院 加藤光剛先生
（実技）口腔保健医療センター所長

④研修会等

➤要介護者口腔ケア実践研修会（令和元年10月1日）

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者
- ・内容 口腔ケアに関する知識及び実技の研修
- ・講師 市職員（歯科医師、歯科衛生士）

➤障がい者施設歯科健診事業説明会（令和元年 11 月 19 日、21 日）

- ・参加者 障害福祉サービス事業者 69 施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について普及啓発
- ・講師 市職員（歯科医師、歯科衛生士）

⑤口腔保健支援センター連絡会議

➤令和 2 年 1 月 21 日開催

- ・参加者 浜松市歯科医師会 理事等 8 名
浜松市 健康福祉部：健康増進課、障害保健福祉課、高齢者福祉課、
介護保険課、国保年金課、健康医療課
こども家庭部：幼児教育保育課
学校教育部：健康安全課
- ・内容 歯科保健推進に関する実務レベルの意見交換
 - 母子・学校（食育、口腔機能発達不全症、各歯科健診）
 - 成人（全身疾患と歯周病、口腔機能低下：オーラルフレイル）
 - 在宅歯科・介護（フレイル：全身との関連、多職種連携）
 - 特殊（特別支援学校、障がい者のかかりつけ歯科医、研修）

（イ）歯科口腔保健推進に関する啓発

- ・浜松市歯と口の健康週間の実施
- ・歯科の受診啓発チラシの作成・配布
- ・企業健康応援事業の出張型健康教育の実施
（協会けんぽ等と連携、事業所訪問や健康教育を実施。事業所の健康づくり推進）

（２）歯科保健の推進における確認事項

- ・口腔保健支援センター
- ・学校歯科保健の推進
- ・食育の推進
- ・調査・研究の推進
- ・障害者の歯科医療 等

(3) 令和2年度計画

【健康増進課】(既存事業の拡充、新規事業等)

①歯周病健診

➤受診率向上への取組

- ・〔拡充〕「受診率向上施策ハンドブック(第2版)」(厚生労働省、平成31年4月)を参考に、受診勧奨を推進する。
- ・〔新規〕「全身疾患と歯周病との関り」や「口臭」といった困りごとから、歯周病検診の受診を促す方法を試行する。

②オーラルフレイルの普及啓発

- ・〔新規〕オーラルフレイルの概念の浸透に向け普及啓発資料を作成
- ・〔拡充〕市民出前講座の内容を充実させ、オーラルフレイルの概念を浸透
旧題名：歯科口腔保健推進計画について
新題名：口腔機能低下(オーラルフレイル)について

平成30年度歯科保健推進会議における課題

| No. | 課題 | 回答 |
|-----|--|---|
| 1 | 口腔保健支援センターのあるべき姿として、浜松市全体の歯科口腔保健事業の中長期の展望を考えるシンクタンクの役目を期待したいところですが、どのように考えますか？ | <div style="border: 1px dashed black; padding: 20px;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">調 整 中</p> </div> |
| 2 | フッ化物洗口について、学校・幼稚園・保育園等で少しずつでも広めようとしています。教育委員会には声掛けはしていきたいのですが、思うようにいかない状況です。 また、1人で何本もむし歯を持っている児童については、貧困やネグレクト等の問題を絡んでいると思われませんが、学校歯科健診後の処置未完了者に対する対応はどのようになっていますか？また、他課との情報共有体制がなされていますか？ | |
| 3 | たくさんむし歯のある子は家庭的に恵まれていないことが少なくありません。市として補助金を出していませんが、こども食堂の運営に対し、国の食育計画もふまえて栄養士が関わっていく予定はありますか？ | |
| 4 | 歯科口腔保健事業の中で栄養士と歯科が絡む事業として離乳食教室、もぐもぐ元気っ教室、親子すごやか相談などがありますが、歯と口も健康寿命の延伸に繋がるよう成人・高齢期において栄養士と歯科保健が絡むようなことを考えていますか？ | |
| 5 | 口腔保健支援センターの設置要綱に口腔の健康に関する調査及び研究の推進等とありますが、歯周病と糖尿病の関係についても、既存のデータを用いて関連性を調べる予定はありますか？ | |
| 6 | 高齢者福祉課の口腔ケア・栄養改善支援事業の実績はどのようになっていますか？ また、高齢者福祉課において、口腔ケアに関する市民啓発を拡充する予定はありますか？ | |
| 7 | 重症心身障害児・医療的ケア児の訪問診療の実績、障がい者歯科診療と紹介・逆紹介の実績、 障害者差別解消法に関する医療分野での相談件数、さらには歯科に関する相談件数はどのようになっていますか。 | |

浜松市歯科口腔保健推進計画の進捗状況

【参考資料】

計画推進に関する浜松市の取組

1 生涯にわたる歯科口腔保健対策

(1) 妊娠期・乳幼児期

| 担当課 | 取組 | 対象 | 事業内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|----------|--------------------|----------------------|---|--|--|
| 健康増進課 | 妊婦の歯科健診 | 妊婦 | ・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施 | ・妊娠届出時に受診票を配布。 ・受診希望者は、委託医療機関で受診する。 | ・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。 |
| | 幼児の歯科健診 | 1歳6か月児 2歳児 3歳児 | ・歯科健康診査を実施し、希望者にフッ化物を塗布 | ・母子保健法に基づく健康診査を実施(1歳6か月、3歳) ・かかりつけ歯科医での定期管理の重要性を普及啓発 | ・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・3歳児歯科健診の受診率向上に努める。 |
| | フッ化物洗口 | 幼児 | ・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施 | ・約半数の施設(106施設/224施設)で実施 | ・実施施設は、毎年、増えている。幼・保の園長会等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。 |
| | 母子の健康教育 | 乳幼児保護者 | ・フッ化物利用による齲予防を普及啓発 ・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけ | ・保育園、幼稚園等の依頼に応じて、施設を歯科衛生士が訪問し、健康教育を実施 | ・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 |
| 幼児教育・保育課 | 幼稚園・保育所における歯科保健の推進 | 園児 | ・定期健康診断で歯科健診を実施する。 ・歯と口の健康づくりや歯磨き方法について学ぶ機会を設けるように努める。 ・日々の生活の中で、食後の歯みがき、口ゆすぎ等に取り組む。 ・よくかんで食べるように指導する。 | ・歯科健診を通して、自分の歯と口の健康状態を知り、むし歯の予防に対する関心が高まるようにした。 ・自分の歯と口の健康を保つための態度や習慣を身に付けるために、教材を工夫したり人材を活用したりして、学ぶことができるようにした。 ・発達段階に応じた正しい歯の磨き方や口のゆすぎ方等を指導した。 ・保護者の食への理解を深め、食事を作ること、子どもと一緒に食べることの喜びがもてるように指導した。 ・歯科からの食育に関する研修会に園の職員が参加し、口腔内の健全な発達が健康増進につながることを学んだ。 | ・歯科健診や「歯と口の健康週間」を通して歯と口の健康についての関心を高め、食後の歯みがきや口ゆすぎ等を習慣化させる。 ・乳幼児の歯科保健の大切さについて、保護者の理解を深めるために、学ぶ場を工夫する。 ・乳幼児期における望ましい食習慣の定着を目指し、食を通じて五感を育むとともに、家庭を基盤とした心身の健全育成を図る。 ・園の職員に口腔保健に関する研修の機会を提供する。 |

(2) 学齢期

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|-------|---------------|------------|--|--|---|
| 健康安全課 | 学校における歯科保健の推進 | 小学生 中学生 | ・定期健康診断で歯科健診を実施。 ・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導。 ・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指します。 ・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医とともに健診後さらに個別の保健指導に努める。 | ・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導した。 ・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化の定着に努めた。さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。 | ・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。 ・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。 ・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。 |

| 担当課 | 取組 | 対象 | 事業内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|-------|--------------|------------|--|--|--|
| 健康安全課 | 学校における食育について | 小学生 中学生 | ・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よくかんで食べることを意識した献立を作成する。 ・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。 | ・1か月に数回「カミカミメニュー」(よく噛んで食べる献立)を立案、実施。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導。 | ・1か月に数回「カミカミメニュー」(よく噛んで食べる献立)を立案。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導。 ・「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よくかんで食べる食品を多く取り入れていく。 |

(3)成人期

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|--------|------------------------|----------|---|--|---|
| 健康増進課 | 歯周病検診 | 30歳以上の市民 | 歯科健診、保健指導の実施を委託 | 30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施 受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送 | 受診率向上のため、ナッジ理論を活用した受診券を作成して送付する |
| | 健康教育 | 市民 | 団体等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を行います。 | ・区歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施 | 引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む |
| | 企業等の健康づくりの取組を支援 | 企業等 | 企業等から依頼のあった際に健康教育を実施する | 健康保険組合等に募集の案内を実施し、希望のある事業所で健康教育を実施 | 引き続き、事業の周知を図る |
| 国保年金課 | データヘルス計画 | 市民 | 生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。 | 特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送した。 発送件数:127件(11月末現在) | 生活習慣病対策の一環として歯周病について啓発していく。 |
| 高齢者福祉課 | 市民公開講座 (保健医療講演会等事業) | 市民 | 歯科、口腔ケア等に関する内容の市民向け講演会等の実施(浜松市歯科医師会との市民協働事業)。 | ・平成31年4月14日「息さわやかに… 口臭のメカニズムと対処法」 参加者:145名 ・令和元年11月10日「正しい食べ方で健康な体づくり～子どもの正しい食べ方を学び、自分も正しく食べましょう～」 参加者:191名 | 引き続き、幅広く市民に歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施していく。 |

(4)高齢期

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|-------|-----------|----------|--|---|--|
| 健康増進課 | 歯周病検診(再掲) | 30歳以上の市民 | 歯科健診、保健指導の実施を委託 | 30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施 受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送 | 受診率向上のため、ナッジ理論を活用した受診券を作成して送付する |
| | 健康教育(再掲) | 高齢者 | 団体等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を行います。 | ・区歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施 | 引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む |
| | 口腔ケアの普及啓発 | 介護保険事業所 | 介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。 | 通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施(10件程度を予定) | 引き続き、事業の周知に努め、口腔ケアの普及を図る |

| 担当課 | 取組 | 対象 | 事業内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|--------|--|-------------------|---|---|---|
| 健康増進課 | 歯科訪問診療の普及 | 介護保険事業所・ 歯科診療所 | 介護事業所と歯科診療所とが顔の見える関係を構築するための支援 | 地域包括支援センターおよびケアマネジャー事業所と、歯科診療所の担当者との意見交換会を実施(令和2年1月23日) | 引き続き、事業の周知に努める |
| | 歯科訪問診療 | 通院困難な者 | 居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う。 | 市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に訪問診療を依頼 | 引き続き、事業の周知に努める |
| 高齢者福祉課 | 口腔機能向上普及啓発事業 | 高齢者 | 高齢者団体に対して、口腔機能の維持向上や口腔ケアについての正しい知識や技術の普及啓発を行います。 | 市内で活動する高齢者団体からの希望に応じて、歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての指導を実施した。 実施状況: 11団体 280人(11月末現在) | 口腔機能の維持向上や口腔ケアの正しい知識について、多くの市民に普及啓発をしていくため、昨年度実施団体以外の団体への実施を進めていく。 |
| | 地域包括ケアシステム推進連絡会 (旧:浜松市の医療及び介護連携連絡会) | 医療・介護・福祉の関係者 | 医療と介護の連携促進のため、歯科医師を含めた医療関係者と介護関係者等との会議を開催する。 | 令和元年9月25日 連絡会本会への出席。(第2回3月参加予定) 部会(連携・市民啓発・研修・情報共有・事業)にそれぞれ参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討した。会議回数:18回(11月末現在) 事業部会にてACP(アドバンスケアプランニング)啓発のため、冊子作成や研修会内容の検討に参加した。 市民啓発部会の活動である「知って得するお出かけ講座」にて、地域住民に対し、在宅医療介護連携の啓発と併せて講話を実施した。実施回数:1回(11月末現在) | 会議の開催 年2回。 全5部会に歯科医師が参加し、医療と介護の連携についての課題解決に向けて他の専門職種と検討する。 ACP啓発のため人生会議手帳の普及啓発を継続する。 「知って得するお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての啓発を継続する。 |
| | 多職種連携研修会 | 医療・介護・福祉の関係者 | 歯科、口腔ケア等に関する内容の医療・介護・福祉の関係者向け研修会の実施。 | 令和元年5月23日 第1回目を開催し、講演、グループワークを実施。 令和2年1月30日 第2回目を開催予定。 | 研修会の開催 年2回。 専門職向けに歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施していく。 |

(5)障がい者の歯科

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|---------|--|--------------------------|--|--|--|
| 健康増進課 | 障がい者歯科保健医療システムの充実 | 歯科医療関係者 | かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う | 連絡調整会議の開催:8/20、11/14、2/6(予定) 障がい者歯科協力医の周知 | 障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。 |
| | かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発 | 障害福祉サービス事業所の利用者 | かかりつけ歯科での定期管理を習慣化できるよう普及啓発する | 普及啓発の手段として施設に赴き歯科健診を実施(年間70施設程度、12月末現在:54施設、1360人) | かかりつけ歯科での定期管理を定着するため、歯周病検診のPRも併せて行う必要がある。 |
| 障害保健福祉課 | 歯科保健医療の普及啓発 障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進 | 障がいのある人及びその家族 歯科医療関係者 | 各区役所に「浜松市障がい者歯科保健医療システム」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。 | 障害保健福祉課、各区役所社会福祉課窓口「浜松市障がい者歯科保健医療システム」のチラシを設置 | 障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。 各区社会福祉課窓口でのチラシの配架 障害保健福祉施策連絡会での説明 相談支援事業所連絡会での説明 歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消法パンフレットの提供 |

| 担当課 | 取組 | 対象 | 事業内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|------------------------|-----------------|------------------------------|---|---|--|
| 病院管理課: 浜松医療 センター | 障がい者(児)歯科 診療 | 一般の歯科診療 所で歯科治療が 困難な障害者 | ・「障がい者歯科協力歯科医院」との連携して歯科診 療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。 | 浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来 を実施した。 | 引き続き、「浜松市歯科医師会」「障がい歯科協力歯科 医院」と連携を図りながら、歯科診療を行っていく。 |
| 健康増進課 | 障がい者(児)歯科 診療 | 一般の歯科診療 所で歯科治療が 困難な障害者 | ・「障がい者歯科協力歯科医院」との連携して歯科診 療を行う。 | 特殊歯科外来を実施した。 静岡県歯科医師会の特殊歯科研修に協力した。 | 口腔保健医療センターでの診療から、「かかりつけ歯 科」へ移行し定期管理を定着させるために、一層の働 きかけが必要 |

2 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

災害時の歯科口腔保健医療

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|-------|--|---------|---|--|---|
| 健康医療課 | 浜松市医療救護対 策委員会における災 害時歯科医療の検 討 | 医療関係者ほか | 災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、身 元確認対策、健康支援対策(口腔ケア)などについて 調査研究を行います。 | ・第1回: 令和元年6月24日 ・第2回: 令和元年11月6日 ・第3回: 令和2年3月上旬(予定) | ・第1回: 令和2年6月下旬(予定) ・第2回: 令和2年10月上旬(予定) ・第3回: 令和2年3月上旬(予定) |
| | 災害時歯科衛生士 ボランティアの募集 及び研修会の開催 | 歯科衛生士 | 災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボラ ンティアを募集する。また、ボランティア登録者等に対 し研修を行い、有事の際に活動いただける人材の育 成を目指す。(研修は健康増進課) | ・ボランティア登録者: 35名(令和元年12月末時点) | 災害時歯科衛生士ボランティア募集(今後、広報はま まつ等での周知を検討予定) 研修会 |

3 その他

| 担当課 | 取組 | 対象 | 内容 | R元年度 実施内容・実績 | 課題や今後の取組 (R2年度以降の取組や今後の方向性等) |
|------------------|---|--------------------|---|--|--|
| 保健総務課 | 医療相談 | 市民 | 医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦 情・相談に対して、中立的な立場で対応する。 | ・相談件数: 1250件(うち、歯科に関する相談: 56件) | 医療相談窓口を開設し、医療に関する患者等の苦情・ 相談に対して、中立的な立場で対応します。 |
| 子育て支援課 | 要保護児童対策地 域協議会 | 児童虐待防止に 関わる関係団体 | 児童虐待防止に向け、庁内外の関係機関の代表者 による実務の円滑な運営体制整備を目的に、情報交 換等を実施する。 | ・要保護児童対策代表者会議開催 第1回 令和元年8月21日、第2回 令和2年年2月(予定) 関係機関代表者として歯科医師会代表者出席 | 児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発 見、通告先の情報共有等を行う。 |
| 健康増進課 (健康推進G) | 歯科口腔保健推進 条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに 関する啓発 | 一般市民 | 生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発 を実施 | 健康はままつ21推進会議(R2.2.19) 計画のPR | 健康はままつ21推進会議にて、関係団体等に計画を PRしていく |